

# 寸言

一般社団法人日本航空宇宙工業会  
常務理事

山岡 建夫



## 2022年ファンボローエアショー(FIA 2022)の準備状況につきまして

立春を過ぎたとはいえ、例年に増して降雪が多く寒さが厳しい日々を迎えております。会員企業の皆様におかれましては、コロナ禍の中大変なご苦勞をされて日々の業務を推進しておられることと、拝察致します。

さて、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、2020年のファンボローエアショー及び2021年のノリアエアショーが中止となり、世界の2大エアショーが開催されないまま、2年が経過しました。しかも、新型コロナウイルスが感染力の強いオミクロン株に変異したことで、一旦減少傾向にあった感染者数は、昨年末から再び世界で増え始めたため、今年のファンボローエアショーが開催されるかどうか、事務局としても大変心配しておりました。

しかしながら、ファンボローエアショーの主催者である英国FIL (Farnborough International Limited) は、2022年7月18日から22日の期間、ファンボローエアショーを開催することをすでに公表しており、展示に向けての手続きも順調に進んでおります。また、先日当工業会にお越しいただきました在日英国大使館の方からも、ファンボローエアショーについて現在のところ開催することに変更はない旨お話をいただいております。

当工業会としましては、今年のファンボローエアショーに出展すべく、1月19日に「2022年ファンボローエアショー」第1回連絡会を、2月18日に第2回連絡会をそれぞれ開催し、出展企業の皆様とともに設営・運営委託先業者及び輸送業者等を交えて情報共有を行いました。

連絡会では、日本から英国へ向けて展示品を運搬する海上輸送の現状について、海上コンテナの不足及び新型コロナ感染拡大にともなう巣ごもり需要の増加等の要因により、従来よりも期間を要するこ

と、費用が上昇しているなどの情報を共有できました。今後、共有された情報をもとに、エアショーに滞りなく出展できるように対応策を検討してまいります。

英国への入国手続きに関しましては、現在ではかなり緩和されております。日本で2回の新型コロナウイルス用ワクチン接種を終えてから14日以上経過している場合は、英国滞在時の連絡先等を「乗客追跡フォーム」(Passenger Locator Form) に記入するのみで、接種証明書は必要なものの、入国時の検査や自己隔離は不要となっております。(在英国日本国大使館HP: [https://www.uk.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/11\\_000001\\_00484.html](https://www.uk.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00484.html))

他方、日本帰国時については、英国出国前と帰国後に合計3回の検査が必要であり、帰国後7日間の待機期間が必要とされているなど、厳格な水際対策が継続されています。今後、水際対策は緩和される方向と報道されておりますが、連絡会やメールを通じて出展企業の皆様とは迅速に情報共有を図ってまいります。

日本国内では多くの地域で未だ、まん延防止等重点措置が発出されております。しかしながら、早期に感染が拡大した地域は、感染者数が減少に転じており、同措置の解除が検討されている地域も出てきました。

世界では既に「withコロナ」の状況であり、欧米を中心に経済活動がコロナウイルスの感染拡大以前の水準まで回復しております。当工業会といたしましては、このような世界の趨勢に遅れることなく、ファンボローエアショーに出展される会員企業の皆様へのサポートを通じて、日本の航空宇宙産業が世界に再び大きく羽ばたくお手伝いができれば幸甚に存じます。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。